

# 第2学年4組 美術科学習指導案

平成30年11月16日（金）5校時

場 所 第2美術室

指導者 熊谷 里香

## 1. 題材名 心の中の世界 ～形・色・イメージの創造～

## 2. 題材について

### (1)教材観

本題材は、夢、想像、感情などの心の中の世界を基に豊かに発想し構想することや形や色彩、イメージや感情を創造して表現する活動である。また豊かに発想した心の中の世界を効果的な表現方法や手順を考えさせ、モダンテクニックなどの様々な表現技法を活用し制作する題材である。自分の体験や経験などから夢、想像、感情を膨らませ自己の心の中の世界を表現し、創造力を働かせ形や色彩などを工夫することで、心豊かな表現能力を養うことができる。

### (2)生徒観

本学級の生徒は美術の表現活動に対し、興味、関心が高く、意欲的に取り組んでいる。また美術の授業に対し、多くの生徒が自分の思いが自由に表現できる楽しい時間と感じている。しかし、その中には表現活動より鑑賞活動に対して、やや苦手意識をもっている生徒もいる。その理由として自分の思いや考えを言語表現することが苦手だと感じている。そこで本題材を通して、美術の表現や鑑賞の活動の中で、自分の思いや考えを文章で書くことや言葉で話すことなどの言語活動をより一層充実させていきたい。

### (3)指導観

自分の体験や経験などから夢、想像、感情を膨らませ、心の中の世界を豊かに発想し構想することで、眼前に見える世界だけではなく、知的に構築された世界を考え、深められるようにしたい。また生徒自らの言葉や文章で主題を書かせることや、制作の意図を明確にさせることで、言語表現力を伸ばしたい。そして形や色彩をとらえたり、感情から形や色彩のイメージを思い描かせ、モダンテクニックなどの表現技法を偶発性だけではなく、意図的に効果に応じた手順を考え、用具の生かし方を工夫することで、創造的に表現する能力を養いたい。

鑑賞活動では夢や想像の世界など基に描いた作者の作品を形、色彩、イメージ、感情について、グループワークを通して鑑賞し、自分の価値意識をもって味わい、相互の見方が広がるように鑑賞の能力を一層深めたい。

## 3. 学習指導要領上での位置づけ

A 表現-(1)ア 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。

イ 主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。

A 表現-(3)ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。

イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。

B 鑑賞-(1)ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

〔共通事項〕

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

#### 4. 題材の指導目標

心の中の世界を基に、主題を生み出し、形や色彩、イメージの表現方法を工夫して創造的に表現する。

関 夢、想像、感情などの心の中の世界を表現する活動に興味や関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ろうとする。

発 夢、想像、感情などの心の中の世界を基に、主題を生み出し、形や色彩の効果を考え創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。

創 材料や用具、表現方法の特性などから、制作の順序を考え、表現方法を工夫して、形や色彩、イメージを創造的に表現する。

鑑 作品の鑑賞を通して、夢、想像、感情などの心の中の世界を基にした主題と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

#### 5. 題材の評価規準 ◆「努力を要する」と判断される状況（C）の生徒への支援

〔共通事項〕アンダーライン

| 美術への関心・意欲・態度                                                         | 発想や構想の能力                                                               | 創造的な技能                                                              | 鑑賞の能力                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 夢、想像、感情などの心の中の世界を表現する活動に興味や関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ろうとしている。 | 夢、想像、感情などの心の中の世界を基に、主題を生み出し、 <u>形や色彩の効果</u> を考え創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。 | 材料や用具、表現方法の特性などから、制作の順序を考え、表現方法を工夫して、 <u>形や色彩、イメージ</u> を創造的に表現している。 | 作品の鑑賞を通して、夢、想像、感情などの心の中の世界を基にした主題と <u>形や色彩、イメージの創造的な表現の工夫</u> などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 |
| ◆ 参考作品を提示し、イメージを広げられるようにする。                                          | ◆ 自分で発想したことを形や色で表現すればよいと助言する。                                          | ◆ 今まで学習した中で生かせる表現技法を試みってみるよう助言する。                                   | ◆ 作品を比較し共通点や相違点に着目し、自分なりの言葉で鑑賞するよう助言する。                                                  |

## 6. 指導計画（10 時間扱い）

| 学習活動                                                                        | 関 | 発 | 創 | 鑑 | 評価方法                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|-------------------------------------------------|
| 1 作家の作品鑑賞(1 時間)<br>ダリ、シャガール、マグリット、エルンスト、クレーが描いた作品をグループワークで鑑賞する。             | ○ |   |   | ○ | 関 表情、観察<br>鑑 対話、記述                              |
| 2 課題と表現技法の把握(1 時間)<br>水彩画やモダンテクニックの技法を体験し、制作への動機づけをする。                      | ○ |   | ○ |   | 関 表情、観察、<br>技 観察、練習作品                           |
| 3 発想・構想(2 時間) <b>本時</b><br>心の中の世界を基に、主題を生み出し形や色彩、イメージ、感情を構図や技法を考え、発想し構想を練る。 | ○ | ○ |   | ○ | 関 表情、観察、対話<br>発 観察、記述、対話<br>アイデアスケッチ<br>鑑 対話、記述 |
| 4 制作 (5 時間)<br>材料や用具、水彩画やモダンテクニック表現方法の特性などから、制作の順序を考え、創造的に表現する。             | ○ | ○ | ○ | ○ | 関 表情、観察、対話<br>発 観察、記述、対話<br>創 観察、作品<br>鑑 対話、記述  |
| 5 制作作品の鑑賞(1 時間)<br>グループで作品発表や相互鑑賞をする。                                       | ○ |   |   | ○ | 関 表情、観察<br>鑑 対話、記述                              |

## 7. 本時の学習（本時 4/10 時間）

(1) 目標 形や色彩の効果を考え、イメージや感情を表す表現の構想を練る

(2) 準備

- ・授業者 アイデアスケッチ、自己評価カード、表現技法の見本、ワトソン紙
- ・生徒 教科書、資料集、ファイル、色鉛筆

(3)展開

| 時間            | ◇主な学習活動                         | ○指導上の留意点<br>（〔共〕：〔共通事項〕に係<br>る内容）                                             | 評価の手立て □評価規準<br>◎十分満足できる状況<br>◆C 判断生徒への手立て                                                                |
|---------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>12<br>分 | ◇本時の学習内容、目標を確認する。               | ○本時の内容を明確にし、目標を確認させる。                                                         |                                                                                                           |
|               | 形や色彩の効果を考え、イメージや感情を表す表現の構想を練ろう  |                                                                               |                                                                                                           |
|               | ◇前回までのアイデアスケッチをグループで交換し、相互鑑賞する。 | ○発想のよさやアドバイスを付箋紙に書かせ、交換させる。<br>○ <u>形や色彩、イメージなど発想のよさ</u> について具体的な言葉で表現させる。〔共〕 | 鑑 形や色彩、イメージなど発想のよさを感じ取り、言語表現できる。<br>◎形や色彩、イメージなど発想のよさを感じ取り、作者に伝わる言葉や文章で表現できる。<br>◆一つでよいので自分の言葉で書けるよう助言する。 |

|           |                                                                                                                      |                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展開<br>35分 | <p>◇アイデアスケッチの手順や方法の確認をする。</p> <p>◇アイデアスケッチの完成させるために構想を練る。</p>                                                        | <p>○付箋紙の言葉を参考にアイデアスケッチの構想を練らせる。</p> <p>○進度の遅い生徒には個別に指導する。</p> <p>○発想や構成ができている生徒には<u>イメージや感情を基に配色</u>を考えるよう促す。〔共〕</p> | <p><b>関</b>主体的に創造的な表現の構想を練ろうとしている。</p> <p>◎自ら進んで形や色彩の効果を考え、創造的な構成の工夫をして構想を練ろうとしている。</p> <p>◆色など発想がしやすいものから取り組むように具体的な方法を提示する。</p> <p><b>発</b>形や色彩の効果を考え、イメージや感情を表す表現の構想を練っている。</p> <p>◎形や色彩の効果を考え、創造的な構成を工夫し、イメージや感情を表す表現や配色の構想を練っている。</p> <p>◆自分で発想した形や色を基にイメージや感情を表現すればよいと助言する。</p> |
| まとめ<br>3分 | <p>◇本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の講評</li> <li>・次回の内容の確認</li> </ul> <p>◇自己評価カードを記入する。</p> | <p>○本時の目標を達成することができたか確認させる。</p> <p>○次回の内容を確認させる。</p> <p>○本時の制作を振り返らせる。</p>                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 8. 板書計画

題材名 心の中の世界 ～形・色・イメージの創造～

目標 形や色彩の効果を考え、イメージや感情を表す表現の構想を練ろう

手順

- 1 発想 P24,25
- 2 形・色・イメージ・感情
- 3 構図・構成・遠近法 P16.17
- 4 表現技法 P14.15.27
- 5 配色

形 色 イメージ 感情

↓

心の中の世界

表現技法

水彩画の技法と  
モダンテクニックの  
見本

○題材名

# 心の中の世界 ～形・色・イメージの創造～

○内容 絵画

○目標

**関**準備、片付け、服装、チャイム着席を守り、心の中の世界を表現する活動に興味や関心を持ち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ろう。

**発**心の中の世界を形や色、イメージをもとに豊かに発想し、構想しよう。

**技**モダンテクニックなどの材料や用具の特性を生かし、形や色彩などを工夫して表現しよう。

**鑑**作家や自他の作品の鑑賞を通して、形や色、イメージのよさや美しさを感じ取り、味わおう。

○授業計画 計 10時間

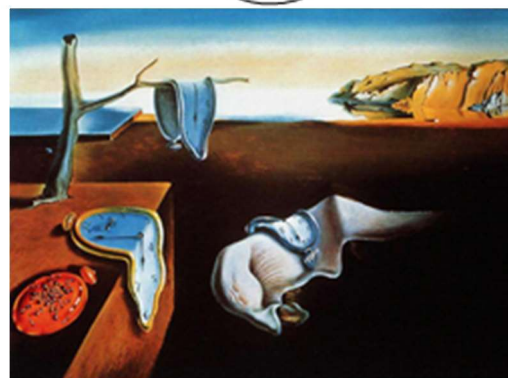
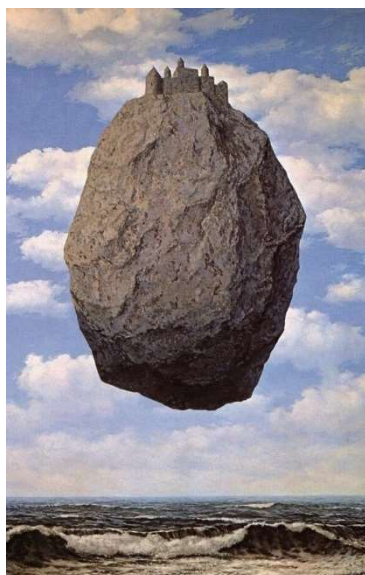
○必要な道具・材料

| 内 容                | 時 間  |
|--------------------|------|
| 1 作品鑑賞             | 1 時間 |
| 2, 構図や技法の学習        | 1 時間 |
| 3. アイデアスケッチ        | 2 時間 |
| 4, 下描き             | 1 時間 |
| 5. 着彩（モダンテクニックの活用） | 4 時間 |
| 6, 完成作品鑑賞          | 1 時間 |

(学校で用意) ワトソン紙、モダンテクニックの  
材料・用具 (クレヨン・金網・ブラシ等)  
(各自で用意) 鉛筆、色鉛筆、ポスターカラー

いつでも美術の授業を受ける **心・身なり・道具** の準備は忘れずに・・・  
毎時間の **集中** が偉大な作家の **魂** を創り上げる。  
そして最高の **作品** を生む。

心の中の世界を描く発  
想力や表現力が勝負で  
す。形・色・イメージを  
創造し表現してみよう



# 心の中の世界 ～形・色・イメージの創造～ アイデアスケッチ

**発想の方法** 資料集 P40・41 参照

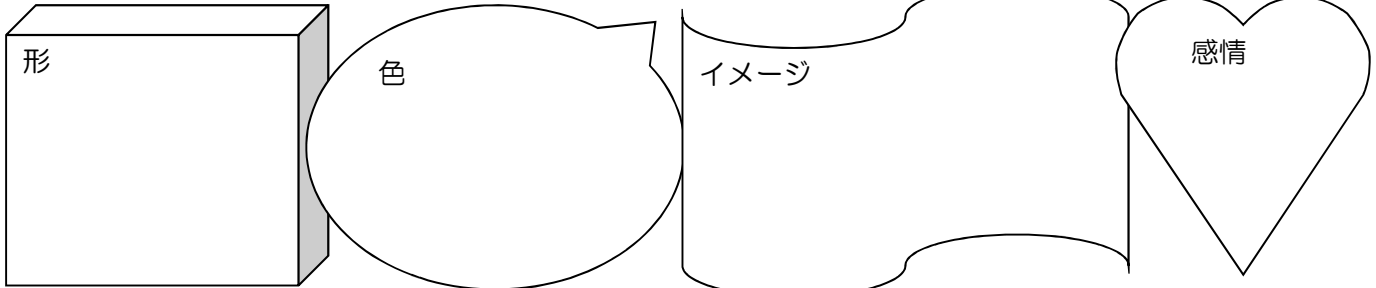
発想する方法を選ぼう

- ① 夢や空想から発想して
- ② 具体物から発想して
- ③ 詩や物語、音楽から発想して
- ④ 材料や技法から発想して

**活用する技法** 資料集 P14・15・プリント参照

【モダンテクニック】活用する技法を選ぼう

マーブリング ドリッピング 吹き流し バチック  
フロッタージュ コラージュ デカルコマニー  
スパッタリング ストリング フィンガーペイント  
スタンピング



作品名

☆たてよこ自由

わたしが思い描く心の中の世界は・・・

2年 組 番 氏名

# 感情ことばガイド

## プラスの感情

うれしい 喜ぶ 歡ぶ 喜ばしい 歓迎 ほがらか 明るい さわやか すっきり 心地よい 気分がいい  
いい 好感が持てる 楽しい 愉快 面白い 軽やか 意欲的 意欲がわく 元気 強気 勝ち気 前向き  
努力 一所懸命（一生懸命） 夢中 集中 一心不乱 ほっとする 安心 安らぐ おだやか おおらか  
誇らしい 誇らしげ なつかしい なつかしむ・素直 率直 まっすぐ ひたむき けなげ（健気）  
落ち着いた 安定した 願い 望み 希望 願望 期待 夢 欲求

## マイナスの感情

悲しい もの悲しい 苦しい 心苦しい つらい さびしい ものさびしい 心細い 不愉快 つまらな  
い 面白くない むなしい 切ない やりきれない 不安 あせり 心配 気がかり くやしい 後悔 後  
ろめたい 反省 がっかり 残念 緊張 張りつめた 疲れる 気が乗らない 気が向かない 気が滅入る  
意欲がわからない 弱気 気弱 後ろ向き 恥ずかしい 恥じらい 怒り 納得がいかない やり場のない  
機嫌が悪い 不機嫌 不満 不満げ 不快 いらだち 腹立ち 立腹 うらやましい うらやむ 羨望 申  
し訳なさそう 罪悪感 言葉にならない あきれる 呆然 ずるい わがまま 好き勝手

## 特に「人」に対しての感情

### 《 プラスの感情 》

愛する いとしい いとおしい いとおしむ かわいい かわいがる かわいそう 気の毒 同情  
親しい 親しみ 親近感 思いやり やさしさ 尊敬 敬う 敬意 畏敬の念 信じる 受け入れる  
受容 共感 許す 許容 たのましい

### 《 マイナスの感情 》

嫌い 嫌う 憎らしい 憎い 憎む 気に入らない 気に食わない 苦々しい ねたましい 妬み 嫉妬  
うらやましい うらやむ 羨望 あやしむ あやしい 不信感 疑念 疑い 反感 反発 意地悪 こわ  
い 恐ろしい 畏怖 情けない

## その他の感情表現

おどろき 意外 予想外 信じられない 不思議 興奮 感動 感嘆 言葉も出ない

# 自己評価カード

2年 組 番 氏名

●題材名 心の中の世界 ～形・色・イメージの創造～

A・・・よくできた  
B・・・だいたいできた  
C・・・できなかった



●内容 絵画

| 日数 | 月日 | 本時の内容(予定) | 忘れ物 | チャイム<br>着席  | 授業へ<br>の集中  | 作品の<br>達成度  | 感想・反省 | チェック<br>印 |
|----|----|-----------|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-----------|
| 1  | /  | アイデアスケッチ  | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 2  | /  | アイデアスケッチ  | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 3  | /  | 下描き・着彩    | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 4  | /  | 着彩①       | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 5  | /  | 着彩②       | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 6  | /  | 着彩③       | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 7  | /  | 着彩④       | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 8  | /  | 鑑賞        | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 9  | /  |           | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |
| 10 | /  |           | 無・有 | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C | A<br>B<br>C |       |           |